

西尾市行財政改革推進計画「第4次実行計画」総評

西尾市行政評価委員会

西尾市行政評価委員会の役割として「行財政改革の監視・調査・公表についての評価を市長に報告すること。」があります。平成23年度に策定した、西尾市行財政改革推進計画（第4次実行計画）は、計画期間が平成24年度から平成28年度までの5か年となっており、計画期間が終了した平成29年度に取組結果の調査及び評価を実施しました。

この第4次実行計画の効果額は約59億円とすでに公表されており、これによれば一定の成果は挙げられているものと評価できます。

また、計画策定時に、庁内だけでなく初めて民間からの委員を加え、15名の『西尾市行財政改革推進委員会』を立ち上げ西尾市行財政改革大綱を大きく見直し、行財政改革推進計画策定に臨まれるなど、新たな取り組みにチャレンジした姿勢は評価できますが、その計画の実効性においては些か疑問に感じられるものも多く見られました。

第4次実行計画での各取組の継続管理はもちろんのこと、目標策定の手法や進捗管理等、計画を実行して浮彫となった課題を、今後の行財政改革に繋げていただきたいと願います。

基本方針に対する評価や、今後の課題を下記のとおり示し、個別の取組に対する評価は、別紙個別評価票内にそれぞれ記載しました。

1. 行財政改革の3つの基本方針に対する評価

① 市民と行政が協働・共有するまちづくりについて

市民と行政が協働・共有するまちづくりに関する項目については、その多くにおいて、真の意味で市政を市民に開こうとする強い意思は見出しがたく、通り一遍のおぞなりの改革という印象を持ちました。

② 財政基盤の確立と効果的・効率的な行政運営について

全体として、財政基盤の確立と効果的・効率的な行政運営に関する項目を中心に、市民に身近な分野で、真摯に改革に取り組み、着実に成果を挙げていると評価できました。

健全な財政運営の推進に関する計画において目標数値が検討された跡が無いものがあることは残念です。

③ 持続可能な市民サービスの提供について

分かりやすい窓口対応に努めたことは評価できますが、目標を数値で書けないも

のは、状態をしっかり検討しその状態を表す数値を盛り込む努力が足らなかったのではないのでしょうか。例えば市民サービスの向上などにおいては現状における市民満足度アンケートの結果があれば、その満足度を〇%アップさせるなどの目標の立て方もできます。今後の行革での取り組みに更なる工夫を求めたいと思います。

2. 今後の課題

(1) 革新的取組

チャレンジ精神や前例主義にとらわれない斬新な発想、市区町村の垣根を越えた広域的視点が表れた取組みはほとんど見られず、5～10年先を見据えた攻めの改革というよりは、市民のニーズや社会の変化に対応するためのいわば受動的改革が多く、行政の常識の範囲内における地味な取組みに止まっている印象を受けました。

(2) 改革案の設定

第4次実行計画に基づく改革に取り組んだ各課の責任ではありませんが、計画で取り上げるのに適さない些末な事柄を内容とする項目、あまりにも容易に達成できてしまう項目、過度に抽象的で科学的な効果測定の方法を欠く項目など、取り上げるべき項目の選定が必ずしも適切でないと認められる例が散見されました。

(3) 目標値の設定

担当課によっては、事業、施策を紹介するのみでどのような目標としているか不明なもの、また成果を数字で表記できないものとし、どの程度の成果を期待するか明確にされていないものや、目標の考え方が適当でないものが見受けられました。数字として目標が立てづらい取組もあるとは思いますが、計画する際にその狙いをしっかりと議論せずに策定してしまったことが要因ではないかと考えます。取組に至った原因と改善の狙いをしっかりと定めた上で、その狙いを目標とし自己評価を行うこと、事業・施策の進行状況を管理し、取組を進めていくべきでありました。

(4) 計画の中間評価

計画期間中における計画の見直しや軌道修正等を可能にするため、実施5年の中間の時期においても進捗調査及び評価を行うべきでした。